

## 最優秀賞

神奈川県教育長賞

### わたしのともだち

三浦市立上宮田小学校

二年 余田

祭

わたしの友だちに、ももかという子がいます。妹と同じ年で、まい年いっしょにりよ行にいたり、出かけたりしています。

ももかは、かいほうせいにぶんせきついしょうというびょう気です。生まれてからも歩けないとおいしゃさんにいわれていました。だけど、わたしはももかとりよ行でいっしょに歩くのがゆめでした。あそんでいても、いっしょに歩くれんしゅうをしました。りよ行までに、ももかはたくさん歩くれんしゅうをしていました。2さいで出会ったももかが、5さいの時のいずへのりよ行で、はじめて手をつないで歩くことができました。まだすぐころんでしまいうし、右と左と体ぜんぶで歩くから、とってもゆっくりだけど、小さなわたしのゆめが、ひ

とつかないました。

小学生になったももかは、車いすで学校に行っています。わたしにとっては気づかない小さなだんさも、ももかにとっては大きなだんさで、車いすはすぐうごかなくなってしまう。ももかに「たすけて、といえるようになるう。」といっしょに大きな声を出すれんしゅうをしたけれど、そういわれなくても気づいてあげられる人になりたい、とも思いました。この世界から、気づかないような小さなだんさがなくなつて、スピードが出てしまうさかもなくなつてほしい。「たすけて。」といわなくても気づいてもらえる、やさしい世界になつてほしい。そして、ももかと同じ、しょうがいがある友だちと、あそびをえらばずたくさんあそべるのに、と思います。

わたしはももかから、たくさんのかんことを教えてもらいました。小さなわたしは、しょうがいをもつ人たちが、えがおになる世界になつてほしいと思うことしかできません。でも小さなわたしの思いがつながつて、いつか大きな世界をええられると楽しみにしています。